

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)		ゴルフ場（総務担当）	来客数の動き	・ゴルフ場のため、入場者数は天候に左右されやすい。前年同月は土日祝日に台風、雨、霧によるキャンセルが836名あったが、今年は4名にとどまっている。過去6年間で最高の入場者数で、順調に推移している。
		その他専門店〔燃料〕（従業員）	販売量の動き	・需要期になり受注は増えている。燃料の値上げも続いている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	来客数の動き	・競合店開業から1年が経過し、物販系の売上が回復してきている。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・来客数は変わらないが、年金、児童手当などの支給で、お金が動いた時期のため、単価がやや上がっている。涼しくなり、ようやく動きが出てきた感じはある。
		都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・ビジネスホテルが県南部に2棟、北部に1棟あるが、稼働は軒並み8割を超えている。継続的かどうかは分からないが、販売量が良くなっている。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・前年同時期と比べて、今月の売上は伸びている。
		旅行代理店（所長）	来客数の動き	・行楽シーズンを迎え、台風等の影響もあり例年に比べて紅葉も今一つという感じではあるものの、来訪数は順調である。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・前年10月は台風の襲来など不安定な天候だったが、今年は天候に恵まれたことから、来園者数が増加している。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・当社もだが、取引先の様子を見る限り忙しそうである。人手不足もあるだろうが、仕事量は増えている。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・消費税増税決定の発表前後で、土地売買成約件数が増えている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・商店街のイベントが開催され、例年にない多くの人出でにぎわい、店の中にも人の流れがきたものの、売上には結び付いていない。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・秋の行事が続き、祭りや運動会等の日だけは人が動いている。ふだんの日も静かで、待ちの状態が続いている。今年は多い台風も落ち着いてきているので、今後は多少、人出が良くなるのではないかと。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・依然として、主力商材である衣料品の不振が継続している。化粧品等の消耗品や大型食品物産展等、好調な商品群もあるが、景況感に大きな変化はなく、厳しい。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・買上客数が低下しており、売上全体は3か月前と比べても余り変わらない。しかし、客単価、買上単価は向上しており、少しだが明るい材料が出てきている。
		百貨店（副店長）	来客数の動き	・前年秋の改装効果が一巡し、来客数の前年比増が落ち着いた感がある。
		百貨店（店長）	来客数の動き	・売上は微増なもの、来客数が微減となっている。
		スーパー（商品部担当）	来客数の動き	・来客数は前年並みだが客単価上昇により、売上は若干上乘せしている。ただし、買上個数が上昇しているわけではないので、良い状況とまではいかない。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・9月末のたばこ増税前の駆け込みによる売上増の反動で、10月初めから中旬まで、1日当たり5万円ぐらいの売上減となったが、それを差し引くと前年並みである。	
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・当地域の自動車産業は、リコールなどの問題で国内販売量が15～20%前後下落しているものの、輸出の落ち込みは余り感じられないのが救いである。また、他のメーカーの新車販売を加えると微増となっている。しかし、車検などの整備売上は、逆に微減であり、トータルでは変わらない。	
	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・新車の売行きは相変わらず悪いが、中古車販売、車検、定期点検、板金塗装等の一般修理の入庫は、低水準ながらそれなりに入っている。当店は観光地周辺にあり、今は紅葉の時期のため、観光客は来ている。ただし、肝心の客は稼ぎ時のため、ほとんど来店しない。	

	住関連専門店 (仕入担当)	来客数の動き	・天候も安定し、来客数は前年同期比でプラスで推移している。ただし、前年は週末ごとに台風が到来していたため、来客数、客単価の絶対数が改善している状況ではない。
	その他専門店 [靴小売業] (経営者)	お客様の様子	・前月までが異常に悪かったので、今月がやや回復しているように見えるものの、まだ客の購買に結び付いていない。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・前年と比べ、今年は来客数の少ない状況が続いている。
	スナック(経営者)	来客数の動き	・平日にアルコールを飲む人が少なくなったので、来客数が減っている。イベント等があったときには、街中にも人があふれるので、少し集客があるようである。
	都市型ホテル (副支配人)	販売量の動き	・日曜、月曜日は稼働や売上が落ちる傾向にあったが、法人及びインバウンド予約が好調なため、全体的な売上増につながっている。
	通信会社(営業担当)	販売量の動き	・新築物件数が前年と比べて減少傾向である。販売数は例年並みである。
	競輪場(職員)	お客様の様子	・入場者数、購買単価共、ほとんど変化がみられない。
	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・テナントの事務所関係は、出店、引き合いがほとんどない。しかし、飲食店やスナック等の引き合いは、少し増えている。分譲物件も、安い物件にはちらほら引き合いがあるものの、余り芳しくない。
	一般小売店[衣料] (経営者)	販売量の動き	・当地域の商工会議所では、10月中頃よりプレミアム付商品券を出したが、なかなかうまくいっていない。
	一般小売店[青果] (店長)	来客数の動き	・今年は特に野菜が高く、果物も若干高めである。ふだんでもばらばらの客が、本当に数える程度の来客数になっている。
	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・前月にたばこの値上げ前の買いだめがあったため、今月は買い控えがあり、来客数が減っている。近隣のイベント等も少なかったため、来客数が更に少なく、やや悪くなっている。
	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・気温の低下とともに、アイスとソフトドリンクの売行きも落ちてきているので、来客数も減ってきている。
	家電量販店(店長)	販売量の動き	・単価が下落している。
	自動車備品販売店 (経営者)	販売量の動き	・通常の10月の販売量、人の動きなどが感じられない。株安のほか、身の回りのムードが余り良くない。
	その他飲食[給食・レストラン] (総務)	お客様の様子	・現状、実態面で景気が悪くなっているとは言えないが、不安定な国際情勢や株価の動向などから、先行きに対して不透明感や不安感が強まっている。飲食は、「気」の影響を受けやすい面もあり、目先は下振れの懸念がある。
	都市型ホテル (経営者)	販売量の動き	・前年度も利用した客の予算が減少しており、やや悪くなっている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・9月に祭りが3日間あった後は、街中はひっそりしていて、歩いている人が見当たらない。さすがに月末の週末だけは、人通りが多少ある。
	タクシー(経営者)	お客様の様子	・全体的に昼も夜も動きが悪く、前年同月と比べて7%の減少である。
	タクシー(役員)	お客様の様子	・人手不足である。
	通信会社(総務担当)	販売量の動き	・ハイスペックな新商材が出そろったものの、売行きは芳しくない。
	通信会社(局長)	お客様の様子	・テレビ、インターネット、電話の利用料商売である。客は厳しいながらも継続してくれているという感じである。
	ゴルフ練習場 (経営者)	お客様の様子	・石油価格の値上がりによる関連商材の価格上昇が続いており、消費者が敏感になっている。
	美容室(経営者)	来客数の動き	・街中の通りはきれいに整備され、立派な箱モノもできた。後は個店の活性化、インバウンド等の要請にも応えられるようソフト面で、新たな強みを見つける商店街を作らなければならない。
	その他サービス [自動車整備業] (経営者)	来客数の動き	・ここ3か月の来客数、売上は10%下落している。来店客の消費意欲は低下傾向にある。
x	スーパー(総務担当)	販売量の動き	・今月に入って売上、来客数共に前年の8掛けの状況である。今月も例年に比べて暑い日があったりして、衣料品を中心に、非常に数値が悪い。

	x	都市型ホテル (営業)	来客数の動き	・宴会獲得数、来客数共に減少しているため、チラシの発行時期、内容、営業方法等も含めて検討を続けている。
	x	通信会社(経営者)	販売量の動き	・後期に入り回復の兆しを感じたのもつかの間で、継続する様子はみじんもない。
企業 動向 関連 (北関東)	-	-	-	-
		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・8月に比べて9月が2割近く落ちたので、今後どうなるのだろうかと悲観的にみているが、受注が非常に好調になってきて、相当伸びている。11月は残業しても間に合わないくらいである。
		輸送用機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・自動車の北米輸出販売が82か月連続で前年を超えており、前年比103.5%である。今後の販売計画も前年超えの見込みである。
		建設業(開発担当)	受注量や販売量の動き	・公共工事中心で売上の95%を占めている。建設業は現政権誕生後順調に推移している。前政権時は「コンクリートから人へ」のキャッチフレーズで建設業は悪者扱いされていた。今期の公共工事発注は前年比15%増、当社受注も前年比10%増である。ただ、地方の建設業は不況業種で経営は厳しく、当社もボーナスの支給ができない。
		建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・例年に比べて工事は多い。
		化学工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・数字的にはやや増加傾向にあるが、出荷は例年この時期から増加傾向となるため、変わらない。
		窯業・土石製品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・売上が増加している。
		輸送用機械器具製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・この数か月、取引先、受注量、販売量等は余り変わっていないので、どちらとも言えない。
		その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量の動き	・フロンガス回収機とエアゾール缶処理装置は増益増収である。太陽光発電事業は9月の悪天候と、これから冬になるため売電が30%減り、1か月で1,000万円ほど下がる。
		輸送業(営業担当)	取引先の様子	・10月はこたつ、電気カーペットなどの冬物家電、また、冬物寝具、衣類などの輸送依頼が前年を10%上回っている。しかし、ドライバー不足により車両手配に苦労しており、原油高による燃料コストの高騰で、利益が薄くなっている。
		経営コンサルタント	それ以外	・商業施設、観光地など、人出のあるところはどこもほどほどの集客状態であり、特に混んでいるとか空いているということではない。また、下請企業や広義の物流関係も通常レベルの操業、稼働状態で、地域的に特別大きな減退や過熱の状況にはない。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・小さな変化はあるが、1ランク回答を変えるほどの変化は、良くも悪くもどちらもない。
		社会保険労務士	取引先の様子	・景気が悪くなっているという話は聞かないので、全般的に悪くはないが、良くなってきているわけでもない。
		その他サービス業[情報サービス](経営者)	受注量や販売量の動き	・特段変化はみられない。
		一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・新規の引き合いが減りつつある。好調だった油圧建機業界の一部で、減産傾向が明確になってきている。
		不動産業(管理担当)	受注価格や販売価格の動き	・以前から取引先に打診されていた管理委託契約の見直しにより、今月分から受注金額を下げられてしまっている。その分を補う新規契約や既存契約の増額はない。
	広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	・消費税再増税が決まり、緊縮状態になっている。この状態は今後も続くかみている。	
	x	電気機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・主要取引先は市場クレームの対応に追われており、生産の伸びが見られない。新規取引先からの受注も設計遅延で始まっていない。
雇用 関連 (北関東)		職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・新しく製造ラインを増やしたり、受注増のため求人数を増やしたり、将来的なことを考え、今から人材育成ということで未経験者を採用したいという企業が増えているため、良くなっている。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数、有効求人数共に、前年同月と比べて減少しているが、有効求人倍率は継続して高水準で推移している。

	学校 [専門学 校] (副校長)	求人数の動き	・ 10月末でも求人があり、例年と比べて求人市場は活発である。ただし、完全な売手市場のため、求人に対するえり好みは強いように感じる。
	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・ 依然として介護職、看護職の募集は多い。住宅関連は、安定してきているのか伸び悩んでいるのか把握が難しいが、募集はごく少ない状態で推移している。天候不順等がかなり影響していると思われる衣料品、青果等は若干高めで出足が鈍っているが、購買力は徐々に伸びていくとみている。
	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・ 求人数に対して採用基準を満たす派遣求職者数が、大幅に不足している。技術系人材は正社員募集であっても、常に人材不足の状況である。
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・ 新規求人数は各月で比較するとばらつきはあるが、3か月でみると1.7%増、有効求人数は1.4%増と増加傾向にある。依然として事業所の採用意欲は高い状態が続いている。
	人材派遣会社 (管理担当)	求職者数の動き	・ 派遣社員への応募者が減少している。高時給の職種のみ好調である。
x	-	-	-